

『獣害』だけで終わらせたくない。
山の恵みを余すことなく『資源』として有効活用してあげたい。

単身1000頭近く解体をする中で、如何に無駄なく肉、毛皮を確保出来るか？
追求し続けた結果、剥皮スキルを競う『スキニングアワード2025』大賞受賞をする。
そこで奈良県の【奈良産業株式会社】様と繋がり、セーム革の新たな可能性を見出す。

鹿毛皮

鹿レザー

- ・なめらかで優しい肌触り
- ・軽く、通気性、耐久性

レザー作品展開
レザー作家
クリエイター

ワイングラス、お皿用クロス

- ・耐摩擦性、脂汚れに強い
- ・繰り返し洗って使える利便性

飲食店様、レザー加工してプレゼント用

美容セームパック、洗顔用クロス

- ・使い捨てではない美容パック
- ・超微粒子の天然コラーゲン繊維質で汚れが落ちる

美容サロン、ホテル売店、プレゼントなど

- (1) 若者や女性が活躍できる場を創出するもの——ジビエブームもあり、若者や女性が狩猟に関わる機会が増え、活躍する環境も提供出来る。
- (2) 本市への愛着や誇りを醸成させるもの——小田原で獣害とされてしまった鹿をまずは小田原市内から発信、展開をし、地域密着で産業とし確立していく。
- (3) 地域活性化に繋がるもの——小田原市内の飲食店様、クラフト作家様、美容サロン、道の駅など需要と供給のある所から展開し、まずは知ってもらい、使ってもらう。
- (4) 人と人との繋がりを促進するもの——知ってもらい、使ってもらうことでさらに他の方への口コミ、評判へ繋がり、プレゼントに発展させていく。
- (5) 地域の魅力を広く発信するもの——自身SNSや、交流のある「全日本鹿協会」「タウンニュース」「けもの道」「ジビエト」(テレビ東京×農水省)など。
- (6) SDGsの推進に関わるもの——①②③④⑦⑨⑫⑭⑮の9つに該当する。
- (7) 文化・伝統の継承に繋がるもの——15000年前から獣皮を使った製法は存在し、現代においても新たな製法を駆使し獣皮の有効活用の伝承にも繋がっている。
- (8) 福祉・健康づくりを促進するもの——オーガニック食材なジビエは高たんぱく、低カロリーで進んで取り入れたい食材。
- (9) 自然環境や環境保全を図るもの——鹿が増え過ぎ、鹿が食べない植物だけの多様性を失ってしまう環境になってしまうことから生息数のバランスを整える必要がある。
- (10) 安心・安全な地域づくりを促進するもの——鹿が増え過ぎてしまうと乗り物との衝突事故や木を傷付けてしまうと倒木、最悪土砂崩れの原因にも繋がる。